

選抜高校野球 21 世紀枠についての一考察

山本 大貴 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 後藤 英文

キーワード：高校野球, 選抜大会, 21 世紀枠

1. 緒言

選抜高校野球大会は, 第 73 回大会 (2001 年) から 21 世紀枠という新しい制度が導入された. 21 世紀枠とは, 選抜大会に清新の気風をもたらすことを目的とする. 大会の特色を象徴するものとして, 勝敗にかかわらず, 高校野球の理想的な姿を実践している学校や特色のある学校を, 一定の成績を取めた中から選出し選抜大会に出場させる制度である. 今までに 36 校が 21 世紀枠で出場しているが, 負けが多いことや選考基準が曖昧であるなどの批判的な声も聞こえる.

そこで本研究では大会の歴史を踏まえ, 21 世紀枠の成り立ちや選考基準, 導入前と導入後の違いなどを調べ, 21 世紀枠について考察した.

2. 研究方法

1) 調査対象者

日本高等学校野球連盟関係者

主催新聞社関係者

通信社高校野球担当記者

大阪府の高校野球部監督

2) 調査方法

・インタビュー調査

2014 年 8 月中旬から 10 月中旬にかけて上記 4 名にインタビュー調査を行った.

・文献調査

選抜高校野球大会関係資料や選抜高校野球大会公式ガイドブックなどを調査. また導入当時と 2014 年の新聞紙面の比較を行った.

3. 結果と考察

インタビュー調査では, 21 世紀枠の成り立ちや導入についての経緯, メディア, 学校側からの 21 世紀枠に対する意見を聞くことができた. 4 名とも 21 世紀枠を評価しており, 甲子園出場を諦めていた選手, 指導者に夢を与えることができる. メディアは, 一般選考の出場校と違って出場理由もはっきりしていることから, 記事に載せやすい. 社会面にも掲載できることから, 高校野球本来の在り方を再確認できる. 今後は, 選考過程を公開し, 選考理由を明確にすることが必要との指摘があった.

新聞調査では, 導入当初 (2001 年) の新聞記事と 2014 年の新聞記事の比較を行った. 最近では初戦敗退する学校が多いことから, 14 年の新聞記事は小さくなっていることがわかった. それでも応援風景など野球以外の記事は以前と同じようにスペースが割かれている.

4. 結論

21 世紀枠は, 14 年経過し定着してきていることは確かであるが, 選考の基準や過程に関して改善点はまだまだある. 21 世紀枠には変化が必要であることが明らかになった. 選抜大会全体の価値を高めるためにも, 新たな形を作っていく必要がある.

引用・参考文献

・M新聞 2000 年 11 月 15 日朝刊

2014 年 1 月 25 日朝刊

・選抜高校野球大会公式ガイドブック (2001)
毎日新聞社